

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 KPI	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と「豊かさ」あふれるまち！		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	01 商工総務費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	01	主要な取り組み 変わる、はじまる、みのかもツーリズム			
小事業	01	地域産業資源活用事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	魅力がありながら知名度やPRが十分でなく埋もれている商品があり、知ってもらう場がない。 地域の事業者には新たな食品の開発に際し競争力を持つためのパッケージ、PRのノウハウが不足しており、コストがかけられないことが問題である。
事業目的	(1) 対象 【特産品販売促進】近隣住民、観光客 【食品ブランド事業補助金】事業者 (2) 目的 【特産品販売促進】市産品の魅力発信による誘客とシビックプライドの醸成 【食品ブランド事業補助金】事業者の商品開発支援と開発商品による市の知名度向上
事業概要	・市産品の知名度向上と販売促進を目的とした各出展事業の実施 ・事業者への開発支援による新たな食品ブランドの創造 ・アンテナショップ「みのかもん」運営による市産品の魅力発信（アンテナショップ開業記念フェア） ・関係自治体との協力による相互の特産品PR及び販路拡大 ・「健康」に特化していく
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	4,875 4,413 4,389 4,268 2,641
決算額	3,709 2,389 4,000 4,266
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	150 / 100

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
物産展等出展回数	目標値				10	10
	実績値				13	

アウトカム

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
アンテナショップ利用者数	目標値				4500	
	実績値				2641	

評価分析

実績	実績	アンテナショップ感謝祭事業(12周年)開催 食品ブランド開発補助金 4件 イベント時市関係商品取扱 5件(F.C岐阜ホームタウンデー、泉佐野市全国物産フェア、金山総合駅出展、ぎふマルシェ@京都2023、市民まつり)
	効果	パッケージやPR面をサポートし商品競争力を向上した。 アンテナショップを運営し魅力ある商品を紹介し広く美濃加茂市の商品を知ってもらうことができた。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	定例化している泉佐野市全国物産フェア・金山総合駅出展・F.C岐阜ホームタウンデー・市民まつり以外の出展機会を掴んでいく必要がある。 令和6年度以降は、物販のみの出展を行うように切り替え、パンフレット配布等のみの出展については、事業者への発送を行い、効率的なPRを実施する。
	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍前の平成30年度は4,472人、令和元年度は3,818人となっているが、コロナ禍後の令和2年度は2,795人、令和3年度は2,588人、令和4年度は2,725人となっている。観光入込客数はコロナ禍前の140万人近くまで回復していることから、消費形態の変化(ネット通販等)があったのではないかと推察する。 令和5年度末でアンテナショップが閉鎖したため、令和6年度のKPIを「食品ブランド事業補助金の交付対象物品の販売促進計画達成率」に再設定する。
実績からR06年度の事業の方向性	実績からR06年度の事業の方向性	市外へのPRを強化のためイベント等へ積極的に参加し、食品ブランド事業補助金の効果を高める。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 KPI	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と "豊かさ"あふれるまち!		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	04 観光費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	01	主要な取り組み 変わる、はじまる、みのかもツーリズム			
小事業	02	市内観光推進事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	観光は市の経済的な活性化に寄与し、雇用の創出、地域イメージ向上につながる。市独自の自然環境、歴史的な名所、文化的なイベントなど、観光資源が存在するがこれらを上手く活用し、観光地としての魅力を高めていかないと観光客を呼び込むことが出来ない。
事業目的	(1) 対象 【観光イベント】市民・観光客 【市内への誘客】観光客・事業者 【観光資材作成】観光客 (2) 目的 【観光イベント】大型観光イベントの実施による誘客と非日常体験の提供 (あん祭MINOKAMO夏の陣・市民花火大会・盆踊り大会) (あん祭MINOKAMO秋の陣・太田宿中山道まつり) 【市内への誘客】地域観光消費の拡充 【観光資材作成】市内観光資源の魅力発信と誘客PR
事業概要	・美濃加茂市観光協会など観光関係団体への補助金交付による活動支援 ・市を代表するイベントである「あん祭MINOKAMO」の開催補助 ・観光パンフレット等の作成及び配布による観光PRの推進
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06 予算額 2,998 12,886 22,208 18,176 13,278 決算額 2,706 2,514 20,909 17,189
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	500 / 10

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光物販等PR活動数	目標値	3	3	5	5	5
	実績値	2	3	4	8	

アウトカム

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光入込客数	目標値	750000	1000000	1000000	1400000	1400000
	実績値	644864	1107305	1347664	1396757	

評価分析

実績	盆踊り保存会等観光団体補助金交付 6件 おん祭の運営支援 地域活性化企業人を活用し、JTB職員の受け入れを実施 CHARI-KAMOの運営 観光協会の支援 観光物販等PR活動 8回
効果	観光客が、おん祭夏の陣で5,000人増、中山道会館で24,000人増、リバーポートパークで4,600人増となっており、コロナ禍以前からの事業を継続していたため、観光客の回復につながったと考える。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍が終わり計画どおり観光物販等のPR活動が実施できたため達成できた。今後もPR機会を掴み効果的なPR活動を模索していく。
KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和元年度の観光客数は149万人となっており、コロナ禍前までの水準に戻りつつあるが、未だにコロナ禍の影響が残っていると考える。
実績からR06年度の事業の方向性	おん祭夏の陣の開催日を9月に変更し、暑さを避け、全国的に花火大会等が終了しあげている秋口に実施することで、観光客数の増加を狙う。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 K P I	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と "豊かさ"あふれるまち!		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	04 観光費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	01	主要な取り組み 変わる、はじまる、みのかもツーリズム			
小事業	03	広域圏観光推進事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	広域圏内には異なる特産品、文化、自然環境といった様々な観光資源が存在する。観光客は広範囲の観光地を訪れたい傾向があるが、単一の地域だけでは限られた観光需要しか獲得できない。
事業目的	(1) 対象 【連携による広域観光推進】市及び近隣を訪れる観光客 (2) 目的 【連携による広域観光推進】広域連携のスケールメリットを活かした効果的な観光誘客
事業概要	・岐阜県観光連盟と連携した効果的な観光PRの実施 ・飛騨木曽川国定公園連絡協議会による河川流域自治体との連携事業 ・日本ライン水上安全協議会による河川観光環境の整備 ・ぎふロケツーリズム協議会によるロケツーリズムの促進
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	381 381 381 381 381
決算額	354 332 381 381
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	50 / 0

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
共同事業参加数	目標値	1	2	2	2	2
	実績値	1	2	3	5	

アウトカム

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光入込客数(1月~12月)	目標値	750000	1000000	1000000	1000000	1400000
	実績値	644864	1107305	1347664	1396757	

評価分析

実績	日本ライン水上安全協議会事業 河川清掃(12/14) ぎふロケツーリズム協議会 セミナー参加(1/31) 泉佐野市全国物産フェア(9/2) 金山総合駅出展(10/24) ぎふマルシェ@京都2023(6/2)
効果	各市町村の観光資源を共有することで、県内外に市產品を広く売り出すことができた。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	計画通り開催したため達成できた。観光では何がヒットするか観光のプロでもわからない時代になったと話があるため、できる限り広く共同事業に参加することが必要と考える。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍の行動制限が解除され、コロナ禍前の水準まで観光客が戻っているため達成できた。
実績からR06年度の事業の方向性	引き続き、連携によるスケールメリットを活かしたイベント等の共同開催、情報発信を行つ。また、よりターゲット(若者・ファミリー・歴史・外国人等)を明確にしたPRを模索する必要がある。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 KPI	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と "豊かさ" あふれるまち!		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	04 観光費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	01	主要な取り組み 変わる、はじまる、みのかもツーリズム			
小事業	04	中山道観光推進事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	中山道太田宿は、旧中山道の宿場町として美濃加茂市を代表する観光スポットであると同時におん祭の会場や市の観光の入口としての役割を担っている。そのため、市の魅力的な観光資源として活用する必要がある。
事業目的	(1) 対象 【太田宿中山道会館運営】中山道太田宿を訪れる観光客・地域住民 【中山道観光資源整備】中山道太田宿を訪れる観光客 【中山道太田宿建造物修景補助金】中山道における建造物所有者又はその賃借人 (2) 目的 【太田宿中山道会館運営】中山道太田宿を訪れる観光客に対する旅の拠点提供と地域住民のコミュニティ促進 【中山道観光資源整備】宿場観光の魅力増進による観光誘客 【中山道太田宿建造物修景補助金】街並み保存及び景観形成による観光満足度の促進
事業概要	・指定管理による太田宿中山道会館の運営 ・太田宿中山道会館の維持補修等整備 ・旧本陣庭園の整備及び維持管理 ・中山道建造物の修景に関する事業 ・中山道関連団体への参加による宿場町の連携推進 ・R6指定管理者決定のためのプロポーザル審査
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	30,422 23,619 22,546 27,890 36,000
決算額	20,307 17,876 22,546 24,444
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	600 / 0

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
中山道会館イベント開催数 (広報掲載分)	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	0	0	4	11	

アウトカム

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
中山道会館来館者数(観光入込者数のうち)(1月~12月)	目標値	50000	60000	60000	60000	85000
	実績値	53933	63182	63503	85293	

評価分析

実績	中山道祭り(10/15)、盆踊り大会(8/26・27)、太田宿マルシェ(12回)、太田宿イワチドリ展(4/29・30)太田宿セッコク展(5/6・7)文化講演会(4/16、5/21)、太田宿ウヂョウラン展(6/17・18)太田宿ユキワリソウ展(3/9・10)、中山道太田宿「早春盆梅盆栽展」(2/10~12)、春のお茶会(3/17)を開催
効果	中山道の歴史を発信し美濃加茂市の観光のアイコンとしてPRに寄与する。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍での行動制限が解除され各種イベントを実施できたため達成できたと考える。中山道会館の指定管理者が変わったことで、新たな取り組みを試行錯誤していくことも模索していく必要がある。
KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍での行動制限が解除されコロナ前の令和元年水準までには復調しているため達成したと考える。中山道会館の指定管理者が変わったことで、新たな取り組みを試行錯誤していくことも模索していく必要がある。
実績からR06年度の事業の方向性	新たな中山道会館指定管理者と事業内容等を検討し、より効果的な事業運営を行う。修景補助の新たな視点での補助対象の見直しを行う。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 K P I	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と「豊かさ」あふれるまち！		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	04 観光費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	01	主要な取り組み 変わる、はじまる、みのかもツーリズム			
小事業	05	観光施設整備事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	観光施設の整備は観光客の受け入れと利便性の向上のために不可欠である。観光客を迎える環境整備を怠ると、観光客は快適に旅行を楽しむことが出来ず、資源を十分に体験することが出来ない。
事業目的	(1) 対象 【観光案内所の運営】観光客 【観光施設整備】観光客 (2) 目的 【観光案内所の運営】観光客へのホスピタリティ充実と情報提供による観光客の満足度向上 【観光施設整備】観光案内看板等資材の維持補修、改善による観光客の満足度向上
事業概要	・観光案内所や吉田家住宅など観光施設の管理運営 ・観光案内看板等の更新、修繕等維持管理 ・アンテナショップ、観光案内所等の今後の運営方針や法人化の検討
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	5,205 5,080 5,216 5,217 5,380
決算額	4,636 4,473 5,216 5,178
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	150 / 50

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光施設のパンフレット補充回数 (回)	目標値			12	12	12
	実績値			12	12	

アウトカム

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
観光案内所利用者数 (委託業務完了届から確認)	目標値	4800	4900	3000	3500	4000
	実績値	2852	3078	4541	4946	

評価分析

実績	観光案内所の運営 旧小松屋吉田家住宅の管理 令和5年度末でアンテナショップの廃止
効果	美濃加茂市の観光情報を提供することで、市内の観光資源を幅広く知ってもらうことができる。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	各種観光施設へのパンフレットの消費状況を確認し適宜補充、H P、S N Sでの情報発信を実施できている。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍の影響で減少していたが、コロナ禍前まで復調してきたと考える。
実績からR06年度の事業の方向性	引き続き観光施設の適正な管理を実施する。 インバウンド入込を確保するため観光案内所を「外国人観光案内所」としてJ N T Oのカテゴリー認定を得る(カテゴリー登録をすることで外国人向け旅行者情報に外国人観光客対応ができることが周知される)

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 K P I	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と "豊かさ"あふれるまち!		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	04 観光費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	01	主要な取り組み 変わる、はじまる、みのかもツーリズム			
小事業	06	インバウンド推進事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	地域を代表するようなキラーコンテンツがない中でインバウンドを推進するには、既存の観光資源の魅力を再構築し新たな切り口（市内外外国人材の活用）や誘客コンテンツとなりうる資源（中部国際医療センター）の有効活用する必要がある。
事業目的	（1）対象 外国人観光客 （2）目的 外国人観光客誘致 誘客促進協議会活動によるスケールメリットを活かした外国人旅行者誘致によるインバウンド増加
事業概要	・国内外向け地域観光情報ポータルサイトの運用促進 ・観光協会ホームページの多言語化による情報発信強化 ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会による海外セールスコール参加
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	21,989 26,904 9,842 785 427
決算額	21,889 22,969 9,842 785
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	100 / 50

アウトプット

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
インバウンド用観光ツール造成数	目標値	10	5	5	5	5
	実績値	17	1	2	3	

アウトカム

K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
外国人宿泊者数（見込）（シティホテルのみ把握できる	目標値	50	1000	500	700	1000
	実績値	300	122	282	187	

評価分析

実績	第1回国際ウェルネスツーリズムEXPOで観光PR（5/12） 美濃加茂自然文化活用推進協議会で外国人向けショートトリップコース作成
	コロナの影響で今年度は少なかったが、外国人観光客による市内における観光消費により市内に経済効果を与えた。
効果	
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	美濃加茂自然文化活用推進協議会において、ショートトリップコースを3コース作成している。今後は造成したツールのPR実施を検討する必要がある。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	外国人宿泊者数は統計をとることが難しく、シティホテルのみが情報提供してくれている。外国人観光客が市を選択できる観光資源の発掘・PR手法の検討が必要と考える。
実績からR06年度の事業の方向性	「外国人」を切り口に統計を取ることは難しい。まずは、外国人が観光しやすい環境の整備の調査・検討を行い、インバウンド対策を実施する。そのため、観光施設の環境整備のため「観光施設整備事業」に統合する。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 KPI	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と「豊かさ」あふれるまち！		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	02 商工振興費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	02	主要な取り組み 「働く」から「働きたい」場所へ			
小事業	01	企業工業振興事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	企業誘致が行われない場合には地域の経済成長が鈍化し、雇用機会の不足や経済的な停滞が生じる可能性がある。 市内産業の活性化と雇用の確保を図り、地域経済の活性化することが求められている。
事業目的	(1) 対象 企業誘致等により市内に工場を新設・増設・移設する企業 (2) 目的 ・事業所設置奨励金や雇用促進奨励金等の交付。 ・サテライトオフィスの運営促進。 ・多種多様な企業を誘致することで、産業の活性化と雇用の確保を図り、地域経済圏を形成を図る。
事業概要	・市内に工場等を新設・増設・移設する事業者に対し、固定資産税相当額の奨励金を交付し、市内企業の設備投資の促進及び雇用の確保を図る。
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	259,727 239,559 239,570 273,677 291,047
決算額	240,847 182,245 217,784 257,814
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	4,030 / 0

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
指定企業における雇用促進奨励金の交付件数	目標値	7	10	11	12	13
	実績値	10	10	9	10	

アウトカム

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
指定企業における雇用促進奨励金の対象者数(常時雇用市内従業員の数)	目標値	65	135	140	145	150
	実績値	137	133	91	111	

実績

実績	実績	・事業所設置奨励金 19社 ・雇用促進奨励金 10社 ・工業用水使用奨励金 2社 ・サテライトオフィス(2カ所) 利用企業数 6社(短期利用含)
	効果	企業誘致等により市内に工場・事業所を新設・増設してもらうことで、新規雇用が創出され地域経済が活性化される。各種奨励金を交付したことでも企業誘致に繋がっている。
評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和5年度は雇用促進奨励金の交付件数は10件にとどまった。市外に本社や事業所がある企業の場合、交付対象とならなくなる場合があるため、減少したと思われる。
	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	雇用促進奨励金の対象者数は、令和4年度と比較して増加をしているが、目標値は達成することが出来なかった。 事業者としても、人材の確保に苦慮しており、人手不足が要因としてあると思われる。
実績からR06年度の事業の方向性	実績からR06年度の事業の方向性	引き続き新たな事業所等の新設についての問い合わせがあった際は、市の制度を説明し企業誘致を進める。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 K P I	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と「豊かさ」あふれるまち！		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	02 商工振興費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	02	主要な取り組み 「働く」から「働きたい」場所へ			
小事業	02	中小企業支援事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	中小企業は地域経済の成長に重要な役割を果たしている。しかし、中小企業は大企業と比較して資本力が限られており、資金繕いに苦慮している現状がある。
事業目的	(1) 対象 中小企業者 (2) 目的 各種補助金や融資制度により、中小企業の経営の安定化と市内産業の活性化を図る。
事業概要	・中小企業が融資を受ける際に必要な保証料や利子に補助金を交付し、企業の円滑な資金調達と安定した事業継続及び設備投資の促進を図る。 ・市内事業者に依頼して行う住宅や事業所のリフォーム工事に補助金を交付し、地域の定住促進及び市外事業者への資金流出の縮小を図る。 ・中小企業の未来を担う人材を確保するため、大学生向け就職イベントの出展を支援する。 ・持続可能な地域経済を実現するため、第2創業、企業内起業、事業承継等を含む創業や起業を支援するセミナーを開催する。
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06 予算額 352,646 244,221 239,338 193,166 189,228 決算額 180,306 185,952 176,291 190,462
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	6,045 / 897

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
小規模企業者事業補助金申請件数	目標値	60	60	60	30	30
	実績値	41	60	35	28	

アウトカム

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
商工会議所会員件数	目標値			1320	1325	1330
	実績値			1346	1347	

実績

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小口融資預託金(新規貸付 5件) ・中小企業季節短期資金預託金(新規貸付 1件) ・中小企業退職金共済掛金補助金 140件・78事業所 ・小口融資利子補助金 8件 ・小口融資信用保証料補助金 11件 ・事業活性化支援利子補助金 24件 ・住宅リノバーム助成金 139件 ・小規模企業者事業所等整備助成金 28件
効果	各種補助金や融資制度により中小企業の円滑な資金調達と事業継続に繋がっている。

評価分析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	小規模企業者事業補助金申請件数は減少し目標値を達成することが出来なかつた。令和3年度は、制度利用後5年経過すると再度補助金申請ができるとした最初の年だったため申請件数が多くたが、令和4年度以降は令和2年度以前と同等の平均的な申請件数となつたと考えられる。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	商工会議所会員数は、昨年度から大きく変わることはなかつたが目標値を達成した。各種支援により中小企業の事業が継続出来ていると考えられる。
実績からR06年度の事業の方向性	令和6年度も引き続き小規模企業者事業補助金等を周知し中小企業が制度を利用できるようにする。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 K P I	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と「豊かさ」あふれるまち！		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	01 商工総務費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	02	主要な取り組み 「働く」から「働きたい」場所へ			
小事業	03	勤労者労働者支援事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	都市部には若者にとっては魅力的な職場やキャリアの機会があり人口集中が進んでいる。地方の企業は規模や業種が限られるため、地元企業へ就職する若者は減少している。 若者の都市部への流出は地方の少子高齢化、地方経済の衰退に繋がる恐れがある。
事業目的	(1) 対象 中小企業、求職者、学生、勤労者及び労働者 (2) 目的 ・セミナーや企業説明会の開催及び金融機関と連携した融資制度実施。 ・地域企業と若者のマッチング。 ・市民の働く環境と安定した生活基盤を整備を図る。
事業概要	・中小企業を対象とした各種セミナー等を開催し、市内企業の採用力等の強化を図る。 ・地域の若者と企業のマッチング機会を創出し、労働力減少社会における地域の雇用確保を支援する。 ・勤労者生活資金融資事業により、市内勤労者の生活の安定と福祉向上を図る。
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	3,306 3,300 3,300 3,300 300
決算額	3,000 3,300 3,300 3,300
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	1,007 / 0

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
ジョブフェア等地域雇用促進機会の提供	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2	3	3	3	

アウトカム

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
新規学卒(高校)求職者の就職率	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100	100	100	

評価分析

実績	みのかもジョブフェア開催 3回 参加企業数 67社(3回の延べ) 参加者 107人(うち学生は18人)
効果	ジョブフェアを3回開催したことで地元企業と若者等をマッチングするなどして、市内勤労者の確保の支援につながった。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	シティホテル美濃加茂にてみのかもジョブフェアを3度開催したため、目標値を達成した。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	少子高齢化に伴う就労人口の減少により求職者の就職率は高いため、目標値を達成できていると考えられる。
実績からR06年度の事業の方向性	引き続き令和6年度もジョブフェアを開催する方向で進める。 令和5年度をもち、勤労者生活資金融資については廃止している。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02100000	産業振興部 商工観光課
大事業	D1	6つのまちづくり宣言 産業振興	款項目 KPI	06 商工費	01 商工費
		目指す姿 活力と「豊かさ」あふれるまち！		1人当たりの市内総生産額 産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合	01 商工総務費 目標値 4,100千円 50.0%
中事業	02	主要な取り組み 「働く」から「働きたい」場所へ			
小事業	04	姫Biz戦略事業	目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	起業しようとする人に対する総合支援の場がない。 小規模事業者に対する売上向上、資金調達等の総合的な支援の必要性。 中山道界隈の賑わいを創出する必要性。
事業目的	(1) 対象 【起業等相談窓口運営】市民・起業希望者・事業者 【起業支援補助金】中山道における起業希望者・空き家所有者 (2) 目的 【起業等相談窓口運営】 女性、若年層、シニアなど幅広い年代からの多様な起業ニーズへの対応による起業者の増加 経営支援や起業に関するセミナー等の開催による事業の円滑化促進 【起業支援補助金】 中山道にエリアを限定した集中的な起業促進及び空き家の解消
事業概要	・起業等相談窓口「姫Biz」の運営 ・平成姫街道事業起業支援補助金の交付
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06 予算額 9,998 13,626 12,462 13,241 13,537 決算額 9,202 10,180 11,855 11,189

年間の事業に要する時間
(正職員/正職員以外)

活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
姫Biz相談延べ件数(実績報告数値)	目標値 400	400	500	500	550
	実績値 542	456	618	517	

年間の事業に要する時間
(正職員/正職員以外)

KPI(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
姫Bizによる起業件数	目標値 8	8	5	5	5
	実績値 11	16	26	18	

アウトプット

アワトカム

実績	実績 効果	・姫Biz相談件数 517件 ・平成姫街道事業起業支援補助金 継続分2件 新規2件 ・太田マルシェ開催 年9回 ・起業家交流会として「姫Biz Cafe」開催 年12回(延べ43名参加) ・企業件数 18事業者 (製造2、飲食5、小売3、サービス7、コンサル1)
評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	平成25年の事業開始以来130を超える起業を実現している。中山道太田宿においては多数の新規事業者が進出しており、当該事業による成果となっている。
評価分析	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	相談件数517件は目標を達成。新型コロナ感染症の影響にから相談件数が増加している。年代別では、30~50代で約82%を占める。会員数も109名(うち美濃加茂市47名)増加の累計785名(うち美濃加茂市347名)であり、支援の継続的なニーズを裏付けている。なお、女性の会員数は550名、約70%となっている。
アワトカム	実績からR06年度の事業の方向性	継続的な支援により、起業家をサポートすることで起業を推進することができている。店舗や事業所を構えない事業者に対しても、コワーキングスペースベース「こやーね」を紹介するなど起業をサポートできた。新型コロナの影響が続く中で、起業の準備を進めていた方が、徐々に規制緩和が見え始めたためか、令和4年度に起業する人の件数が前年の1.6倍(26件)に増加した。令和5年度に起業する人の件数は18件と減少したが、美濃加茂市では14件と多数を占めている現状から、中山道における起業に大きな貢献ができたと評価できる。